



2019年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月10日

上場会社名 株式会社SHIFT 上場取引所 東  
 コード番号 3697 URL http://www.shiftinc.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)丹下 大  
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理部 部長 (氏名)岡 朋宏 (TEL) 03(6809)1165  
 四半期報告書提出予定日 2019年1月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第1四半期の連結業績 (2018年9月1日～2018年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第1四半期	3,954	48.8	318	36.9	320	21.2	193	18.4
2018年8月期第1四半期	2,657	94.9	232	903.2	264	605.5	163	-

(注) 包括利益 2019年8月期第1四半期 220百万円 (25.2%) 2018年8月期第1四半期 175百万円 (959.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第1四半期	13.37	12.29
2018年8月期第1四半期	11.34	10.39

(注) 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数の算出に当たり、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式の期中平均株式数を控除する自己株式数に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第1四半期	6,232	2,739	40.3
2018年8月期	6,284	2,506	36.7

(参考) 自己資本 2019年8月期第1四半期 2,511百万円 2018年8月期 2,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年8月期	—				
2019年8月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年8月期の連結業績予想 (2018年9月1日～2019年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	37.9	400	△26.1	380	△32.4	210	△38.2	14.50
通期	18,000	40.7	1,400	16.6	1,350	9.0	830	125.4	57.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規—社(社名) 、除外—社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年8月期1Q	14,585,000株	2018年8月期	14,542,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年8月期1Q	78,760株	2018年8月期	78,760株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年8月期1Q	14,478,361株	2018年8月期1Q	14,412,092株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 期末自己株式数には、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式(2019年8月期1Q 78,600株、2018年8月期 78,600株)が含まれております。また、期中平均株式数の算出に当たり、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式の期中平均株式数を控除する自己株式数に含めております(2019年8月期1Q 78,600株、2018年8月期1Q 78,600株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いておりますが、政治的要因による海外経済の不確実性や国際金融市場の変動もあり、世界経済の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当社グループがサービスを提供するソフトウェア関連市場においては、開発と運用が相互に連携し合う開発手法であるDevOps（デブオプス）や労働人口の減少と政府が掲げる働き方改革の元で注目されているRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）といった新たな開発手法や技術が出現してきております。また、消費税率の改正や、新元号への対応などといった社会的要請の高いIT投資が期待される一方で、不正アクセスによる仮想通貨の外部流出などに代表されるセキュリティ問題も深刻化しています。

こうした経営環境の中、当社グループでは当連結会計年度を売上高1,000億円企業に向けた、2つ目の通過点である成長戦略「SHIFT300 -シフトスリーハンドレッド-」の二年目として位置づけ、高付加価値なサービスラインナップの拡充、各業界トップ企業との関係強化と成長フェーズにある中堅企業への事業拡大、品質保証業のブランディング力向上を重点課題として取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高3,954,547千円（前年同期比48.8%増）、営業利益318,907千円（前年同期比36.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は193,550千円（前年同期比18.4%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①エンタープライズ市場

エンタープライズ市場では、金融業、流通業、製造業、通信業、ウェブサービス業など社会基盤を支える企業における業務システムや情報システムにおいて、ソフトウェアの品質保証に関するサービス全般を提供しております。

当第1四半期連結累計期間では、前連結会計年度より特にIT投資規模が大きい金融・流通各分野を注力業界として定め取り組んだ結果、長期的な関係構築を視野に入れたプロジェクトへの参画が進み、こうした新規顧客からの売上高が徐々に増加してまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間のエンタープライズ市場の売上高は3,510,347千円（前年同期比51.7%増）、営業利益は873,803千円（前年同期比71.1%増）となりました。

#### ②エンターテインメント市場

エンターテインメント市場では、モバイルゲーム、ソーシャルゲーム、コンシューマゲーム等を消費者に向けて提供のお客様に向け、品質管理工程やデバック業務のアウトソーシング、カスタマーサポート業務のアウトソーシングにより、お客様ビジネスの付加価値を向上させるサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間では、競合との差別化を図ることによる業界内認知度の向上や、既存顧客からの売上高が増加したことにより、収益基盤の拡大を進めましたが、テスト環境構築等の先行投資がかさんだ結果、当第1四半期連結累計期間のエンターテインメント市場の売上高は444,200千円（前年同期比29.3%増）、営業利益は96,994千円（前年同期比1.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ52,855千円減少し、6,232,043千円となりました。これは主に、取引高の増加により売掛金が298,731千円増加しましたが、納税により現金及び預金が390,300千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末と比べ285,556千円減少し、3,492,908千円となりました。これは主に、事業規模拡大のため未払費用が73,851千円増加しましたが、約定弁済により長期借入金が102,090千円、納税により未払法人税等が213,037千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ232,700千円増加し、2,739,134千円となりました。これは主に、利益剰余金が193,550千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月期の業績予想につきましては、2018年10月11日に公表いたしました数値を修正しております。詳細につきましては、本日(2019年1月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,474,400	2,084,100
売掛金	1,802,923	2,101,655
たな卸資産	37,397	72,765
その他	112,773	174,387
貸倒引当金	△10,971	△12,585
流動資産合計	4,416,524	4,420,323
固定資産		
有形固定資産	421,321	405,310
無形固定資産		
のれん	649,275	628,317
その他	159,198	166,484
無形固定資産合計	808,474	794,801
投資その他の資産	638,577	611,607
固定資産合計	1,868,373	1,811,719
資産合計	6,284,898	6,232,043
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	291,754	295,342
1年内返済予定の長期借入金	350,647	347,146
未払費用	641,582	715,434
未払法人税等	341,775	128,738
賞与引当金	42,988	87,660
その他	709,066	626,214
流動負債合計	2,377,815	2,200,536
固定負債		
長期借入金	1,303,812	1,201,722
その他	96,836	90,649
固定負債合計	1,400,649	1,292,372
負債合計	3,778,464	3,492,908
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	585,694	592,019
資本剰余金	540,506	546,831
利益剰余金	1,243,959	1,437,510
自己株式	△60,175	△60,175
株主資本合計	2,309,984	2,516,184
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,570	△4,844
その他の包括利益累計額合計	△5,570	△4,844
新株予約権	2,562	2,562
非支配株主持分	199,457	225,232
純資産合計	2,506,433	2,739,134
負債純資産合計	6,284,898	6,232,043

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2017年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)
売上高	2,657,642	3,954,547
売上原価	1,878,184	2,684,922
売上総利益	779,458	1,269,624
販売費及び一般管理費	546,561	950,717
営業利益	232,897	318,907
営業外収益		
受取利息	129	95
為替差益	5,035	3,492
助成金収入	26,228	5,710
その他	1,857	165
営業外収益合計	33,251	9,463
営業外費用		
支払利息	1,858	1,243
持分法による投資損失	-	6,911
その他	93	140
営業外費用合計	1,952	8,295
経常利益	264,196	320,074
特別利益		
投資有価証券売却益	-	3,951
特別利益合計	-	3,951
税金等調整前四半期純利益	264,196	324,026
法人税等	87,494	104,701
四半期純利益	176,701	219,324
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,284	25,774
親会社株主に帰属する四半期純利益	163,417	193,550

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2017年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)
四半期純利益	176,701	219,324
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△872	726
その他の包括利益合計	△872	726
四半期包括利益	175,829	220,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,544	194,276
非支配株主に係る四半期包括利益	13,284	25,774



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エンタープライズ 市場	エンターテインメ ント市場	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,314,006	343,636	2,657,642	—	2,657,642
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,314,006	343,636	2,657,642	—	2,657,642
セグメント利益	510,791	98,788	609,580	△376,683	232,897

(注) 1. セグメント利益の調整額△376,683千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エンタープライズ 市場	エンターテインメ ント市場	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,510,347	444,200	3,954,547	—	3,954,547
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,510,347	444,200	3,954,547	—	3,954,547
セグメント利益	873,803	96,994	970,797	△651,890	318,907

(注) 1. セグメント利益の調整額 △651,890千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (重要な後発事象)

## (株式取得による会社等の買収)

当社は、2019年1月8日付で株式会社アッションの全株式を取得し、同社を子会社化いたしました。

## 1. 株式取得の目的

当社グループは、従来の事業の主軸としてきたソフトウェア製品の機能テストや、負荷テスト、脆弱性検証などの非機能テストに加え、「わかりやすさ」「使いやすさ」などの製品の性能や機能では計ることのできない、ユーザーの「使いごち」を追求する「魅力的品質」の向上を目指したサービスラインナップを拡充することを目的に、UI/UX領域で事業を展開し知見を有する株式会社アッションを子会社化いたしました。

## 2. 買収する会社の概要

名称	株式会社アッション
事業内容	Webマーケティング事業、インターネットメディア事業、海外マーケティング事業
事業規模	資本金 9,800千円
(2017年12月期)	純資産 26,464千円
	総資産 124,403千円
	売上高 310,764千円

## 3. 株式取得の時期

2019年1月8日

## 4. 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

取得する株式の数	普通株式1,564株
取得価額	350,000千円
取得後の持分比率	100%

## 5. 支払資金の調達方法

自己資金